令和6年10月11日

令和6年度関東東海北陸農業試験研究推進会議
水田作畑作・作業技術部会 研究会 開催要領

部会長	中日本農業研究センター	転換畑研究領域長	酒井英光
副部会長	農業機械研究部門	知能化農機研究領域長	林 和信
副部会長	作物研究部門	スマート育種基盤研究領域長	石井卓朗
副部会長	植物防疫研究部門	雑草防除研究領域長	小荒井晃
副部会長	中日本農業研究センター	水田利用研究領域長	白土宏之

1. 目的

2024年夏季（6～8月）の日本の平均気温は、1898年以降では2023年の記録と並び最も高くなった。特に、西日本では1位、東日本では1位タイの高温となった。昨年度の夏季高温では、関東東海北陸地域においても夏作物の障害が各地で報告されている。そこで、本年度の高温が水稻、大豆等の夏作物に及ぼした影響について、実態を共有するとともに、今後の高温対策に向けて課題の整理や討議を行う。

また、若手研究者を中心とした参加者を募り、研究課題別に少人数のグループ分けを行って相互の研究紹介を行う情報交換の場を設定し、研究者間の交流を促進する。

2. 開催日時

第1部：令和6年11月20日（水）13：00～15：00

第2部：令和6年11月21日（木）13：00～16：30

3. 開催場所 Teams によるオンライン開催

4. 議 事

第1部 若手研究者を中心とした研究情報交換

第2部 「夏季高温による土地利用型作物への影響およびその対策技術」

1) 2024年夏季高温の特徴と水稻作での影響の評価（仮）

農業環境研究部門 エグゼクティブリサーチャー 長谷川利拡

2) 子実肥大期後期の高温がダイズの青立ちに及ぼす影響（仮）

作物研究部門 畑作物先端育種研究領域 主任研究員 山崎諒

3) 斑点米カメムシ類の生態、被害、および防除法～特に近年問題となっている
イネカメムシを中心に～

中日本農業研究センター 転換畑研究領域 上級研究員 石島力

4) 各県からの実態報告と総合討議

5. 参集範囲

関東東海北陸地域都県農業関係試験研究機関、普及機関及び行政部局関係者、農林水産省

農産局、農林水産技術会議事務局、関東農政局、東海農政局、北陸農政局、農研機構、その他部会長が必要と認めた者

6. 連絡先

〒305-8604 茨城県つくば市観音台 3-1-3 (観音台第3事業場)

中日本農業研究センター転換畑研究領域 栽培改善グループ グループ長 福畠 陽

Tel : 029-838-8852、E-mail : kanto-suiden@naro.affrc.go.jp

7. その他

詳細については、部会事務局より別途連絡する。

下記の中日本農業研究センターWEB サイト内の推進会議ページにも掲載する。

https://www.naro.go.jp/laboratory/carc/contents/suishin_kaigi/index.html